

	2010年4月	2010年5月	2010年6月	最近の経済動向
世界	<p>-G20:世界経済回復予想以上、民需回復迄支援後出口</p> <p>-GDP:10年:IMF:世界 4.2%、米 3.1、欧 1、日 1.9、中 10、インド 8.8、ブラジル 5.5、ロシア 4%</p> <p>-1-3月:パソコン世界出荷 24%増</p> <p>-世界半導体売上:3月:58%増</p>	<p>-ギリシャ財政悪化で世界株全面安</p> <p>-GDP:10年:OECD:日 3%、米 3.2、欧 1.2</p> <p>-世界半導体売上:4月:50%増</p>	<p>-G20:財政健全化加速化を</p> <p>-APEC 貿易相会合:経済統合の推進、WTO 交渉推進</p>	<p>・中国、インド、NEIS/ASEAN 経済は内需拡大等で力強く回復し世界経済を牽引。米、日の先進国経済は景気対策効果、新興国への輸出、投資収益の増加等で回復傾向。欧州信用不安の影響が懸念材料。</p>
日本	<p>-GDP:1-3月:前期比年率 4.9%、前期比 1.2%、消費 0.3、投資 1.0、輸出 6.9</p> <p>-株価:2日一時1万 1300 円台、20日1万 897 円</p> <p>-人口:09年10月:1億 2,751 人 0.14%減</p> <p>-雇用:3月:失業率5%、0.1%悪化</p> <p>-所得:3月:現金給与 0.8%増(22ヶ月ぶり+)</p> <p>-物価:3月:消費者 1.2%下落 13ヶ月連続</p> <p>-消費:3月:消費支出 4.4%増、小売販売 4.7%増、新車販売 23.5%増、フラッシュメモリ品薄、住宅着工 2.4%減</p> <p>-受注:3月:機械 13.1%増、工作機械 3.6 倍</p> <p>-生産:3月:鉱工業 30.7%増、車 71.2%増、機械 48%増</p> <p>-貿易:3月:輸出 43.5%増、輸入 20.7%増</p> <p>-収益:資源高・デフレ挟み撃ち、1-3月:営業益:コマツ320億円、3月期:純益:ホンダ96%増 2,684 億円、京セラ36%増 400億円、リコー 3.8 倍 250 億円、営業益:トヨタ500億円、ダイキン640億円、最終損益:東芝200億円赤、シャープ43億円黒、エルピーダ20億円黒字、</p> <p>-投資・開発:東芝環境対応車向けモーター生産2倍、日立リチウム電池寿命2倍、シャープLED量産、エルピーダ4ギガDRAM開発、10年度:電子部品大手5社50%増 2,600 億円、11年:トヨタ・リチウム電池ハイブリッド車量産</p>	<p>-政策:日銀・環境・R&D 融資銀行に低利融資</p> <p>-株価:25日一時 9,458 円台ギリシャ、11日1万 809 円</p> <p>-雇用:4月:失業率 5.1%、0.1%悪化</p> <p>-所得:夏ボーナス 2.8%増、4月:現金給与 1.5%増</p> <p>-消費:4月:消費 0.7%減、小売 4.9%増、車販売 24.1%増</p> <p>-受注:4月:工作機械 3.2 倍 807 億円</p> <p>-生産:4月:鉱工業 25.9%増、</p> <p>-貿易:4月:輸出 40.4%増、輸入 24.2%増</p> <p>-収益:3月期:純益:三菱商 26%減、住商 28%減、物産 16%減、スズキ 5%増、三菱電 2.3 倍 282 億円、ダイキン 10%減 1、ミネベア 88%増、HOYA51%増、営業益:上場企業 25%増 2期ぶり+、パナソニック 2.6 倍 1,904 億円、東芝 1,171 億円、ソニー 320 億円、最終:トヨタ 2,094 億円、日産 423 億円、ホンパ 447 億円、ニコン 300 億円、NEC114 億円、日立 1,069 億円赤、三洋電487億円赤、森精機 346 億円赤</p> <p>-投資・開発:三菱電・電子メータ生産、エルピーダ世界最小 DRAM 開発、1-3 月:設備投資 11.5%減、10年度:設備投資:11%増、製造業 17.3%増、研究開発:自動車 8%増、電機微増、11年:東芝 LED 一貫生産、12年迄:東芝投資・開発 2.4 兆円、三井物産資源開発、海外インフラに 1.2 兆円、三洋電充電電池、太陽電池に 2 千億円、ミネベア HDD 等</p>	<p>-政治:鳩山首相辞任</p> <p>-株価:7日一時 9,502 円ハンガリー財政問題、3日終値 9,879 円</p> <p>-消費:5月:国内新車販売 28%増</p>	<p>(前々月)・GDP は輸出主導で回復傾向、デフレ傾向続く。企業業績 10-12 月期以降急回復。輸出急回復。設備投資回復傾向。所得下げ止まり傾向、失業率高止まりも個人消費は緩やかな回復傾向。自動車販売好調も住宅低迷。受注、生産も回復傾向。景気回復、デフレ・物価上昇、雇用確保が最大課題 (前・今月)</p> <p>・GDP は輸出主導で回復傾向、デフレ傾向続く。企業業績前3月期営業益2期ぶりプラス。株価は欧州信用不安で低迷。輸出高水準回復。設備投資回復傾向。所得は緩やかに回復、失業率やや悪化、個人消費は車販売好調で緩やかな回復傾向。受注、生産も回復傾向。経済は回復傾向が続く。持続的な景気回復、雇用確保が最大課題</p>
アジア・大洋州	<p>-アジア:GDP:アジア 7.5%、中国 9.6、韓国 5.2、台湾 4.9、ネパ 5.5、タイ 3.5、インド 8.2、1-3月:ASEAN 新車販売 41%増</p> <p>-中国:沿海部最低賃金 21%引上げ、不動産に資金流入、3月:輸出 24%増、輸入 66%増、新車販売 55.8%増 174 万台、車生産 57.6%増、消費者物価 2.4%増、1-3 月:GDP11.9%増、固定資産投資 26.4%増、小売売上高 17.9%増</p> <p>-台湾:3月:輸出 50.1%増、受注 44%増、海外受注 43.7%増、1-3 月:純益:ホンハイ 34.8%増 179 億台湾ドル、エイサー 63%増 32億台湾ドル、アスス 11 倍 49 億台湾ドル、TSMC3.1%増、</p> <p>-韓国:サムスン・20 ナノフラッシュ量産、3月:輸出 35.1%増、輸入 40%増、1-3 月:GDP 9%増、設備投資前期比 0.8%増、プラント受注 5.9 倍、10 年:GDP5.2%</p> <p>-タイ:3月:消費者物価 3.4%増、1-3 月:GDP 前期年率 16%</p> <p>-ベトナム:1-3 月:自動車生産 2.3 倍、消費者物価 8.5%増</p> <p>-インドネシア:1-3 月:GDP 5.7%、自動車販売 73.6%増</p> <p>-マレーシア:3月:輸出 36%増</p> <p>-インド:0.25%利上げ年 5.5%へ、3月:新車販売 28.8%増、1-3 月:GDP 8.6%、M&A76%増、純益:インフォシス 8.7%増 325 億円、TCS60%増、3月期:純益 L&T44%増、10年:GDP 8%</p>	<p>-アジア:投資マネー流入、アジア株全面安ギリシャ問題</p> <p>ASEAN:1-3 月:GDP 前期比年率 17.7%、車販売 42%増</p> <p>-中国:賃上げ要求加熱、物価上昇、上海万博開催(11月迄)、預金準備率 0.5%引上げ 17%へ、中国株年初来安ギリシャ問題、4月:輸出 30.5%増、輸入 49.7%増、新車販売 30%増、消費者物価3%増、3月期:レノボ最終益116億円黒</p> <p>-台湾:1-3 月:GDP 前期比年率 11.3%投資好調</p> <p>-韓国:サムスン:液晶パネル440億円、3D・LEDTV 増産、20 年迄設備投資・研究開発1.9兆円、LG ティスプ液晶パネル600億円、1-3 月:純益:現代自 19.2%増 950 億円、営業益:上場企業 2.4 倍、サムスン前期比 28%増 3,750 億円、LG2.6%増 440 億円、LG ティスプ2倍、ハイニックス 13%増670億円</p> <p>-タイ:4月:車生産 96%増国内・輸出好調</p> <p>-シンガポ:1-3 月:GDP 前期比年率 15.5%</p> <p>-インド:4月:新車販売 39%増23万台、3月期:タタ最終益 500 億円黒</p>	<p>-アジア:7日アジア株全面安</p> <p>-台湾:4月:輸出 57.9%増</p>	<p>(前々月)中国の経済拡大、固定資産投資・生産・消費高水準、輸出回復、韓国、台湾は輸出・生産・投資好調、企業業績好調、GDP 高水準。インド経済拡大へ、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも回復傾向。景気の持続的回復課題。インド、ベトナム等でインフレ懸念 (前・今月)中国は、固定資産投資・生産・消費高水準、輸出回復で経済の拡大続く。韓国、台湾は輸出・生産・投資好調、企業業績好調、GDP は高水準。インド経済好調、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも急回復。景気の持続的回復課題。中国、インド、ベトナム等でインフレ懸念</p>

北米	<p>-景気:FRB ほぼ全地域で改善 -GDP:1-3月:前期比年率3%、3期+、消費 3.5%、投資 3.1%、輸出 5.8% -株価:16日 1万 1,140^{ドル}、28日 1万992^{ドル} -雇用:3月:失業率 9.7%、横這い -所得:3月:可処分所得前月比 0.3%増 -消費:3月:個人消費前月比 0.6%増、小売売上高 9%増、前月比 1.6%増、卸売上高前月比 2.4%増、新車販売 24.3%増 106万台、住宅着工前月比 1.6%増、中古住宅 16%増、 -生産:3月:鉱工業前月比 0.1%増、9ヶ月連続+ -収益:1-3月:純益:主要 500社 50%増、IBM 13%増 2,400億円、GE31%減 1,800億円、インテル 3.9倍 24.4億^{ドル}、アップル 90%増 2,860億円、TI54%増3千億円、AMD239億^{ドル}、J&J 29%増 4,210億円、マイクロソフト 35%増41億ドル、グーグル 37%増、ヤフー 2.6倍 2,880億円、最終益:フォード¹ 960億円、GM800億円、キャタピラー 220億円、モトローラ 6,900万^{ドル}、</p>	<p>-株価:7日 NY株 1万520^{ドル}、ギリシャ財政危機 -雇用:4月:失業率 9.9%、0.2ポイント悪化雇用 29万人増 -物価:4月:消費者前月比 0.1%下落 -所得:4月:個人所得前月比 0.4%増 -消費:4月:個人消費前月比横這い、小売売上高前月比 0.4%増 5ヶ月+、新車販売 19.8%増、住宅着工前月比 5.8%増、新築販売前月比 14.8%増 -受注:4月:耐久財前月比 2.9%増 -生産:4月:鉱工業前月比 0.8%増2ヶ月+ -収益:2-4月:純益:シスコ63%増 2,040億円、HP28%増、デル 52%増 400億円、</p>	<p>-株価:5日 NY株終値 9,931^{ドル}、欧州財政不安 -雇用:HP 9千人削減、5月:失業率 9.7% 0.2ポイント低下、雇用 43万人増加 -消費:5月:小売売上高 2.6%増、6ヵ月連続+、新車販売 19.1%増 -投資・開発:IT 企業手元資金急増 M&A、R&D 加速</p>	<p>(前々月)GDP は回復傾向(3期+)。大幅な財政赤字。株価下落傾向。輸出は増加傾向。失業率高水準高止まりも個人消費は回復傾向、新車販売好調。受注・生産・投資も緩やかに回復。企業業績 1-3月は大幅な回復。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題 (前・今月) GDP は1-3月迄3期連続+。大幅な財政赤字。株価は欧州信用不安で下落傾向。企業業績好調。輸出は増加傾向。失業率高水準もやや低下、個人消費は車販売好調、住宅も底打ちで回復傾向。投資も回復傾向。受注・生産も回復傾向。 高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧州	<p>-政策:ギリシャ、EU、IMF に 5.4兆円支援要請、ギリシャ国際格下げ -GDP:1-3月前期比:ユーロ 0.2%、独 0.2%、仏 0.1%、英 0.3% -雇用:3月:失業率ユーロ 10%横這い -物価:3月:インフレ率 1.4% -消費:3月:小売売上高:ユーロ 0.1%減、独 2.6%減、仏 2%減、英 2.5%減、新車販売:欧州 12%増、独 27%減、仏 18%増、英 26.6%増、スペイン 63%増 -貿易:1-3月:輸出 ユーロ 23%増、独 23%増ユーロ安 -受注:3月:製造業受注:ユーロ 19.8%増 -生産:3月:鉱工業生産前月比ユーロ 1.3%増、独 4%増、仏 1%増、英 2%増、 -収益:1-3月:純益:シーメンス 48%増 1,900億円、ノキア 2.9倍 430億円、VW61%増 530億円、ダイムラー 730億円黒、最終益:フィリップス 250億円黒字、ソニーエリクソン 26億円、STマイクロ 53億円、フィアット 25億円、営業益:ダイムラー 1,400億円</p>	<p>-政策:EU、ユーロ防衛のため IMF と 89兆円の緊急融資制度創設合意 -GDP:10年:欧州 0.9(EU委) -雇用:4月:失業率ユーロ 10.1% 0.1ポイント上昇、独 7.1% やや低下、蘭 4%、スペイン 20% -消費:4月:新車販売:ユーロ 6%減、110万台、独 32%減、仏 12.9%増、英 23.9%増、</p>	-	<p>(前々月)GDP は独を中心に底打ち傾向。株価下落傾向。輸出回復傾向、投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、個人消費低迷も自動車販売は独除き回復傾向。受注、生産は回復の兆し。企業業績回復傾向。景気回復、雇用確保、ユーロ防衛が課題 (前・今月) GDP は独を中心に底打ち傾向。欧州信用不安で株価下落傾向。企業業績は回復傾向、輸出回復傾向、投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、車販売は4月にマイナスに転化、個人消費もマイナスへ。受注、生産は回復の兆し。 景気回復、雇用確保、ユーロ防衛が課題</p>
中東ア	<p>-イスラエル:10年:GDP 3.7% -アフリカ:中国、インド、ブラジル資源争奪</p>	<p>-GDP:中東・北アフリカ:9年 1.5%、10年 4.3% -サウジアラビア:双日、仏スエズと火力発電受注 2千億円</p>	-	<p>・主要国経済は資源価格の上昇で回復の兆し。一方、太陽光、原子力、電力、石化プロジェクト活性化。ドバイショックの鎮静化、イラクアフガンの情勢の安定、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:株価上昇、3月:新車販売 30.3%増 34万台</p>	<p>-ブラジル:11日ブラジル株年初来安値、製造業支援開始(輸出企業への低利融資、税金還付、4月:新車販売 18.6%増、27.7万台</p>	-	<p>・ブラジルは消費・輸出・投資中心に回復傾向。メキシコ、ベネズエラ、チリは成長横這い。景気回復が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:極東開発に 28兆円投入、3月:新車販売 7%減 12万台</p>	<p>-GDP:10年:中・東欧・ロシア 3.7%、ロシア 4.4%、旧ソ連圏 4.5%、バルト3国 1.8%、 -ロシア:4月:新車販売 20%増 16万台</p>	-	<p>・ロシアは石油価格の回復等で経済底打ちの兆し。消費、投資弱い。新車販売に回復の兆し。景気回復が課題。</p>